

## 健康経営

三洋化成グループは、従業員一人ひとりが心身共に健康な状態で働くことが、従業員とその家族の幸せをつくり、会社の発展にもつながっていくと考えています。

### 目標と実績

従業員の健康維持増進を個々人の管理に任せるだけでなく、会社が積極的に関与することが経営における重要課題であると捉え、健康経営を積極的に推進しています。健康経営の取り組みや成果を定量的に示し、活動のPDCAを回すことを目的に「健康経営戦略マップ」を作成しました。

5つの取り組みに対する行動目標を掲げたほか、健康増進やメンタルヘルス対策等も行い、生産性や働きがいの向上につながる健康投資策を積極的に展開することで、最終的には経営課題の解決を目指しています。

#### ▶ 5つの取り組みに対する行動目標

(年度)

取り組み	項目	2022	2023	2024	2025 (目標値)
運動	週1回以上の運動習慣を持つ	50%	52%	52%	70%以上
睡眠	睡眠で休養が十分とれている	63%	61%	59%	80%以上
食事	バランスの良い食事をとる	75%	79%	82%	90%以上
飲酒	週2日以上のお酒を飲む	76%	77%	79%	90%以上
喫煙	たばこを吸わない(喫煙率低減)	83%	84%	82%	90%以上

#### ▶ 健康関連指標の実績と2025年度目標<sup>※1</sup>

(年度)

		2022	2023	2024	2025 (目標値)
アブセンティズム <sup>※2</sup>	私傷病休業者率	1.9%	1.3%	1.6%	1.0%以下
プレゼンティズム <sup>※3</sup>	労働生産性損失率	36.6%	36.4%	35.8%	30.0%以下
ワークエンゲージメント <sup>※4</sup>	仕事への自発的行動や ポジティブな感情(偏差値)	50.1	49.6	49.7	51.0以上

※1 健康診断結果のデータ(肥満、肝機能、脂質、血糖、血圧等)も行動目標の中間指標としている

※2 欠勤や休職などにより、業務を行うことができない状態。1か月以上欠勤・休職の疾病休業者数で測定

※3 出勤しているものの心身の健康問題により十分な仕事のできていない状態。WHO健康と労働パフォーマンスに関する質問紙で測定

※4 仕事においてポジティブで達成感に満ち、活力・熱意・没頭といった心の状態。コトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度と相関の高い8項目を用いた独自の調査票で測定

### 推進体制

経営幹部が参画する「健康推進会議」が方針や取組内容の審議・決定を行い、各地区の従業員をメンバーとした「健康推進チーム」が地区ごとに従業員への健康経営の周知・浸透ならびに具体的施策を推進する体制としています。会社・労働組合・健康保険組合の三位一体で、全社一丸となり健康への取り組みを推進しています。

### 2024年度の取り組み

三洋化成工業健康保険組合設立50周年記念式典に合わせたパネルディスカッション「社員一人ひとりが自身の健康に真剣に向き合うために」を実施したほか、行動目標に掲げる5つのテーマに加え、従業員アンケートで関心の高い分野のセミナーを実施し、動画配信も行っています。こうした健康経営に関する取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営法人」に7年連続で認定されました。